

## 第12回米原市定例教育委員会

日 時：平成27年12月18日

午後3時30分～午後5時15分

場 所：山東庁舎2階 2AB会議室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長、小路委員、本庄委員、山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長、藤岡課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：宮崎次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：森田課長

図 書 館：雨森館長

書 記：西村

(欠席者)

教 育 委 員：河居委員長職務代理者

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

伊吹山も一部白くなり、ようやく冬らしくなってきました。学校では最後の週となり、保護者会等も開催されていることと思います。本日は第12回の定例会、大変御苦勞様ですが、よろしくお願ひします。

### 3 会議録承認

#### 11月定例会

### 4 教育長報告

○先日、ある公民館で定例教育委員会の議事録を読んでいますと言われ、気に留めていただいています。教育委員さんには12月10日頃まで15校全ての学校訪問に行ってください、後程、感想や意見交換の時間を設けたいと思います。また、総合教育会議にも御出席いただきありがとうございました。11月21日には教育フォーラムに参加させていただき稲村委員長の県教育功勞者表彰の受賞がありました。そして、12月議会では、議員から特別支援のインクルーシブ教育についての質問がありました。地域の学校と県立の特別支援学校との副次的な学籍を県が検討しているところで、市はどのように展開していくのかというものでした。答弁としては、県の制度が整ったところで、市も積極的にインクルーシブ教育、いわゆる地域の学校と県立の特別支援学校の子も達との交流を図っていきたくて述べさせていただきました。特別支援学級に在籍していた子ども達も、高等学校に進学した場合に、相談する場が限られてしまうということも質問の中にもありました。中学校の時から、高等学校への進学に際してのきめ細かな進路指導も行っています

し、通常の高等学校に進学された場合でも、学校側としては相談があれば関わらせてもらうという支援体制を整えながらやっていきたいと思えます。常任委員会では、次年度から新たに5年間の指定管理が始まりますが、今後も生涯学習課を中心に、指定管理者との連携を密にしていきたいと答弁しました。

- 教育総務課については、先日、第1回教育振興基本計画審議会を開催しました。目標としては、来年12月議会に提案できるところを最終到達としています。できれば8月か9月頃にはある程度取りまとめできるよう、スケジュールを見はかりながら進めていきたいと思えます。現在、市民アンケートと中高生向けのアンケート作成の最終段階にきています。また、教育委員会の評価・点検報告書に関しては、学識経験者を招いて教育委員さんとの懇話会をもたせていただきました。その取りまとめの報告を、今議会に提出しているところです。
- 学校教育課については、学校訪問が中心でしたが、特に次年度のICTの予算獲得に向けて、ICT機器を活用して授業研究会を行いましたし、県教育長が訪問されて、市の学力状況調査の結果を踏まえての取組について、懇談を行いました。また、管理職の昇任試験の時期に入りましたので、候補者の面談も行っています。山東小学校と春照小学校の健康増進プログラムでは、ドコッチの活用について保護者説明会を明日の午後行います。各小中学校とも22日が最終で冬休みに入りますので、現在、学期末の懇談会を行っています。
- 生涯学習課では、先日、市芸術展覧会音楽部門の最終審査発表会を開催し、大賞は春照小学校6年生児童の作品が選ばれ、教育長賞には大原小学校の児童の作品が選ばれました。昨年以上の出展がありました。こういった大掛かりな音楽部門の作詞、作曲を行っているところがあまりないということで、東京の方も参加していただいている、ということも伺っています。また、柏原生涯学習センターは、今までは柏原区が特定の指定管理として受けていたのですが、計画通りに次年度からは、地元譲渡として進むことがはっきりしました。来年2月頃にかけて、最終となる調理室の修繕工事に取り掛かることになっています。司馬遼太郎没後20周年記念シンポジウムが来年4月23日に文化産業交流会館で行われる関係で、市もこのシンポジウムの実行委員会に参加しております。司馬遼太郎の作品そのものも街道を歩く中で長久寺が起点になっているということから市も参加し協力していくという報告を受けています。また、1月10日は成人式を行う関係で、実行委員会を進めています。
- 歴史文化財保護課については、11月23日に文化財として流星の打ち上げを成功に終わっています。商工会の皆さんの協力のもと、10本中9本が成功し良かったと思えます。次年度以降の取組については、12月25日に実行委員会を行い今後の方向性もつめていきたいと思えます。なお、同日にはのろし駅伝も行いました。12月6日には東草野の文化的な景観にちなんで石切り場の見学ツアーもしていただきました。興味を持っておられる方が結構おられ定員満杯でした。
- 学校給食課については、安全・安心な給食の提供を行っています。12月からは、お鍋給食を実施していますし、東部給食センターの2階を使って親子料理教室も開催しています。今後、子ども達の体験学習として味噌作り体験をします。
- 図書館については、11月22日に学校支援地域本部事業、読書推進活動の成果報告会が行われました。非常に素晴らしい発表を聞かせていただき、もっと学校の先生方にも参加いただきたいし、学校現場の中で地元で素晴らしい講師の方がおられるので、生かした取組ができないかと思っています。また、現在伊吹山テレビで、伊吹小学校の学校図書館を利用した授業研究の紹介が流れています。12月24日には河南小学校図書館の大改造をします。昨年度の館長から引き継いで、3つ目の図書館大改造ということで、県立図書館の協力を得ながら進めているところです。

委員：資料の後ろにアンケートがありますが、これから行うのですか。

事務局：教育振興基本計画策定についてのアンケートで、後程報告の中で説明します。

- 委員 : アンケートは教育総務課で考えられたものですか。
- 事務局 : 委託業者に依頼して作成したもので、前回の教育振興基本計画のアンケートと同様の内容で、経年変化を見るようにしています。
- 委員 : 歴史文化財保護課について、6日の石切り場見学ツアーはたくさんの参加者があったようですね。
- 事務局 : 定員は20人でしたが、新聞に掲載された途端一気に定員に達し、最終的に参加者は21人で、何十人かは申し込みをお断りさせていただきました。
- 委員 : 結構ハードだったと聞きました。
- 事務局 : 距離的には2、3キロですが、アップダウンがかなりあるので、健脚向きのコースでした。川を渡ったり、急なところを上がったりとということもありました。
- 委員 : 先日、観光協会から石田三成ゆかりの地を巡るタクシーで研修に行かせていただいたのですが、それは歴史文化財保護課とは関係がないのですか。
- 事務局 : 主に商工観光課が担当しています。
- 委員 : 3市の関わりということでタクシーでまわらせていただき、勉強になりました。
- 委員 : 文化財についての調査や萬留帳の調査をされていて、実際にある本を、現代文に直されている作業をされているのですね。またそこから新しい発見があるかと楽しみにしています。米原市に住みながら、知らないことがたくさんあるので、勉強しないといけないと感じています。新聞で御覧になった方もあるかと思いますが、彦根の藩主、井伊直弼の和歌を基にした唱歌が復活されました。唱歌は和歌に書かれていた記号から楽譜に直され、青年時代に過ごされていた埋木舎で披露されています。昔からの伝わりが発掘されて、現代によみがえるのは素晴らしいと思います。米原市の歴史を知ることは、ふるさとへの誇りを大切にしていきたいという学びにつながるのではないかと思います。
- 委員 : 米原市ではそういうものはあるのでしょうか。
- 事務局 : 今のところ発見までは至っていませんが、今年4月からは古文書専門の職員も採用していますし、今まで埋もれていたものが日の目をみることで、可能性として広がっていくので、そういったことを少しずつ蓄積していきたいと思います。
- 委員 : 学校教育課のところで、11月、12月の問題行動等を見て、いじめはこの月はたくさんあったようですが、気になるのは、放課後児童クラブでのいじめ事案です。前から児童クラブでの事案があり、指導員がいじめを把握しておられることは素晴らしいのですが、学校との連携がどうなっているのでしょうか。学校訪問しているときは、そこまでは見えていないのですが、その関わりで学校教育課長どうですか。
- 事務局 : これは放課後児童クラブで、学校で指導はしますが、両方が情報共有し、指導することが大切だと思います。他の児童クラブで3件とも起こったことです。学校に原因があったのかもしれませんが、家庭にあったのかもしれませんが。そのあたりはわかりませんが、児童クラブで事実を確認していただいて、それをもとに学校で指導していくのがよいかと思います。そういった形ができていなかったもので、学校で把握した段階で大きくなっていったという状況です。今、小学校の校長、私、子育て支援課と協議の場を持ち、情報共有して指導していくという確認をしています。また、放課後児童クラブの指導員にも、指導について研修を計画されています。学校教育課も、スクールソーシャルワーカーやいじめ対応支援員にも関わっていただき、研修計画を検討しています。
- 委員 : 支援員は、元学校教員で力量のある先生になっていただいています。しかしながら、放課後の児童数が増えると、支援員は担任以上に力量がないと指導しきれない場面があるのではないかと思います。そうなると、学校の先生と支援員との定期的な情報交換の場が必要ではないでしょうか。情報の共有が大切であること、支援員の研修の場も確保しながら、子ども達のために頑張っていただきたいです。

延長線として、学校でのいじめにつながるといけませんので、委員会として放課後児童クラブの実態をつかむこと、また支援員のサポートも含めてお願いしたいと思います。

委員：場所は放課後児童クラブですが、小学校の子ども達の考えや文化として、いじめがまだあるということ、学校は謙虚に受け止める必要があります、個別なり全体の指導は必要だと思います。委員長もおっしゃったように、学校はここまで、ここを出たら放課後児童クラブの責任という冷たい割り切りがどこかであったのではないのでしょうか。やはり、定期的に子どもの現状について情報交換が必要であり、共に子どもを育てていこう、また学校も質を上げていこうというところは必要だと思います。当然、指導員への研修、学校への相談をきちんとしていただきたい。共に育てるという意識が教職員の中にないとしんどいと思います。そのあたりの指導もお願いしたいと思います。

## 5 議案審議

議案第100号 県費負担教職員の職務に専念する義務の免除に関する規則の一部  
を改正する規則について 【学校教育課】

原案承認

議案第101号 後援等名義使用承認（後援）について 【教育総務課】  
○龍谷大学吹奏楽コンサート in 滋賀

原案承認

議案第102号 後援等名義使用承認（後援）について 【教育総務課】  
○映画「みんなの学校」上映会&座談会

原案承認

委員：「みんなの学校」の映画のチラシに、木村泰子氏とありますが、この方が先月の県の教育フォーラムでも講演されました。なかなか馬力のあるよい印象の方でした。映画は見ていないのですが、また、寄せてもらえるとういことかと思ひます。

委員：市役所職員の自主研究における予算も入っているのですね。

事務局：総務課の研修予算の中で、自主研究グループの支援事業があり、複数の課で3人以上のグループで活動する際に、5万円の補助があります。

## 6 協議事項

(1) 平成28年度米原市内小・中学校2学期の始業について 【学校教育課】

委員：2学期の始業を8月27日にすることについて、校長会ではどのような意見が出ていますか。

事務局：夏休みといえども、全員がそろって校内研究会や職員会議を行う日程調整は難しく、そこに始業日の繰り上げを入れるのは、かなりきついです。県教委から必ず出席するようと言われる出張が、これ以外にも生徒指導、教育相談も必ずあります。そういったことを除いて入れていくと、学校内でも調整が難しく、さらに土曜授業半日で児童、生徒を帰らせて、先生方は長期休業中に代休をまとめ取りをしてくださいとなると更に日が限定されてきます。当初、26日の始業を思っていました、学校現場ではみんながそろわないということか

ら、例え一日でも余裕をもった方がよいため、現状と変わらない日程が妥当かと思えます。現場では、あまり始業を早めることで、しわ寄せが出てくるのではないかと心配する声がありました。

- 委員 : 学校としては2学期に向けての職員会議を、8月終わりのこの時期にしかとれないのでしょうね。
- 事務局 : 市教委の全員研修会は8月25日でしたが、お盆過ぎでこれをさらに繰り上げるのは調整が難しいです。現場の思いを大事にして、とにかく現場がまとまって頑張ろうという気持ちを持ってもらわなければならないので、現状と変わらない日程が妥当かと思えます。また、給食をしてもらえるので、保護者の理解を得られるのではないかと思います。
- 委員 : 現場のことはわからないのですが、お母さん方は、学校で給食があることに歓迎されるようです。
- 委員 : 今の子どもは、親を気遣って給食がある方がよいと思うようです。以前は、家でご飯を食べる方が嬉しかったのですが。
- 委員 : 資料にも、他市の2学期の始業時期一覧がありますが、従来通り9月1日のところもあります。どういう理由で8月から2学期を開始するのか、そのあたりの説明は、どのようにされるのですか。
- 事務局 : 授業時数の確保が第一です。エアコンが設置され勉強できる環境にあるので、授業時間の確保をしていきたい。最近の異常気象、台風や大雨で休校になることも考えて、授業時数を確保していきたいと考えています。
- 委員 : 年間の授業時数の必要数があるものの、実際は出張等で欠けることもあり、確保できないこともあります。若干余裕はありますが、体育大会などにまわしてはいけません。
- 事務局 : 小学校は、実際使った分を授業に戻すこともあります。小学校、中学校共に授業時数が足りないということはないのですが、何が起こるかわかりませんので余裕を持たせたいと思います。
- 委員 : 自然変災等で欠けた時数が結構あります。
- 事務局 : どちらにしても授業時数は統計的にいうとぎりぎりです。少しでも、自然変災を考慮して、余裕を持ったカリキュラムが組めるよう、せめて給食を提供しながら、また土曜日の半日も授業カウントしながら、余裕を持たせることによって、先生方が研修を行うために、全児童、生徒を帰らすという対応も可能になります。大東中学校区では、教育フォーラムの他に校区研を行っています。授業をストップして帰らすことも可能になるので、少しでも余裕を持たせて、先生方の研修にも使っていただける、当然、行事や学活に時間を取られることも多いので、そういった時間の確保にもつながっていくと思います。
- 委員 : 校園長会は、いつかけますか。
- 事務局 : 1月です。
- 事務局 : 試行して、この形でよくなれば、規則の変更という手順になります。給食を始めるのは今回が初めてです。
- 委員長 : 給食の開始に問題はないのでしょうか。
- 事務局 : 問題ありません。
- 事務局 : スケジュールを見ていると、最大4日給食日が増えます。
- 委員 : 質問ですが、始業日が27日ということですが、資料の2ページ目は26日となっています。
- 事務局 : これは当初提案した資料で、26日として検討していた時の資料です。
- 委員 : 最近では、9月より前倒しで始業日を早めるところも多いようです。中学校は9月の第2土曜日が体育大会というところが多いので、始業を早めることで、

余裕を持って体育大会の準備ができると思います。始業日の翌日から給食があるのは、ありがたいと思います。午後の使い方は学校に任せるとのことですね。

事務局 : そうです。

委員 : 夏休み明けすぐに学習というのも、子ども達には切り替えが難しいと思うので、そういう時間を有効に使っていただければと思います。また、最近土曜日を使って、中学校であれば定期テストの日に一日設けたり、行事も削減されているので、十分に時間数を確保できるのではないかと思います。夏休みも始めが早くなっているので、8月の終わりから始めて、9月からしっかり学習に取り組むというのでもよいかと思います。

委員 : 今の話を聞いていて、土曜日の授業参観の振替はしないところをしっかりと校長会で話をしておく必要があると思います。

事務局 : 基本はその形で、最終は校長判断になると思います。山東小学校ではホタルパレードを土曜日に行っているのですが、午前中授業をして午後ホタルパレードを行うのか、午前中を休みにして、午後から登校させるのかということもできます。一番心配しているのは、子どもの体力や先生方の勤務状況から、週5日制が定着しているのに、無理に土曜日1日しては教師もしんどいと思います。そうすると、けがやトラブルの起きる原因にもなるので、無理をせず半日で終われる日は教師も休んで、子どもも帰らせて、月曜日からまた通常に戻る方が、保護者にとってもお昼の心配をしなくてよい。そういったことから、提案させていただきます。

委員 : 授業時数の確保に関わって、始業式は午前中で子どもは帰っているのですか。

事務局 : そうです、帰っています。以前は、懇談会を夏休みにされているところもありました。

委員 : 中学校は中間試験で5教科ある場合、初日は3教科して生徒を帰らす、2日目は2教科だけではもったいない。授業時数の確保という面で、見直してもらう必要があるのではないのでしょうか。

事務局 : 今は、中間テストは1日で終わります。期末テストは2日あります。

事務局 : 2日目の午後に生徒総会をしたり、生徒会選挙をしたりしています。

委員 : 昔は研修をしたり運動をしていました。

事務局 : 余裕があれば、そういったこともしてもらえるかもしれません。

## 7 報告事項

### (1) 第1回米原市教育振興基本計画審議会について

【教育総務課】

委員 : 先日も話題になっていましたが、パブリックコメントはいつ行うのですか。

事務局 : パブリックコメントは答申を出す前に行います。そして、パブリックコメントで出てきた意見を審議会で議論した上で修正をかけます。答申をしてから、パブリックコメントを行うと、抜本的な意見が出てきた時に市だけで決めてしまうことになり、審議会の意味が無くなってしまいます。

委員 : アンケートは2種類入っていますが、委員、どうですか。

委員 : 私だったらどう思うかを丸を付けていて、わりとよく方向性をみて設定しておられる印象を受けました。

事務局 : 基本的には前回のアンケートとあまり変わっていません。設問11の小規模校に関するデリケートな問題にも踏み込んで書いていただきます。そういった実態も把握する必要性から、こういった形をとりました。

- 委員 : 5年経っているので、若干は変わっているのかなと思います。
- 委員 : 私も最初からこだわっていたのですが、学校区を選択するようになっていますが、審議会委員がいつまで旧町意識でのアンケートを実施するのかと言われてるように、私ももういいかなと思います。その点はどうですか。
- 事務局 : 個人的には、11番については、地域性が出るかなと思うので、クロス集計を行いたいと思います。
- 委員 : 根本的に、みんなの気持ちが米原市になるまでは、この方法でよいのではないかと思います。
- 委員 : 市になって10年経つのに、アンケートの主体である行政がいつまでこういった言い方をしているのかなと思います。
- 委員 : 2,000人の無作為抽出は実際どのように行われるのですか。
- 事務局 : これは、コンピュータが弾き出すことになります。都市部では22から23パーセントという中で、どの市民アンケートをとっても、30パーセント後半の回答率になるのが米原市の特徴です。また、現在米原市が行っているのは平面クロスのみですが、立体クロスもできるように、集計データをSYLK(シルク)形式でも残しておくことが大切です。
- 委員 : 2,000人の抽出者の地域が偏ることもあるのではないのでしょうか。
- 事務局 : 市民4万人に対しての2,000人となると、結構ばらけます。
- 委員 : 抽出も業者に委託するのですか。
- 事務局 : 市の住民基本台帳システムで抽出ができます。
- 委員 : 年齢もばらばらですか。
- 事務局 : 年齢もばらばらですし、市の年齢構成に準じたバランスで抽出されます。
- 事務局 : この教育振興基本計画の策定にあたっては、上位法に当たる市の総合計画それから総合教育会議、次回2月頃に設定されると思いますが、12月に議論しました米原市の基本理念をもって、審議会の2回目に臨めるとよいと思っています。

## (2) 後援等名義使用承認(後援)について

- 第16回湖北母親大会 【学校教育課】
- 第62回滋賀県母親大会 【生涯学習課】
- 第4回まいばら入江干拓マラソン 【生涯学習課】

## 8 質疑応答

## 9 その他

## 10 閉会

次回

第1回定例教育委員会 1月21日(木) 午後3時30分から

山東庁舎 3階第2委員会室

以上をもって第12回定例教育委員会を午後5時15分に終了した。